

事業の一体化推進

伊藤忠商事(1)
豊田通商
日鉄物産
蝶理
住友商事
主な子会社の
三景(伊藤忠商事)
ジョイックスコ
エドウイン(伊藤忠商事)
双日ファシヨン
丸紅ファシヨン
丸紅インテック
三井物産
三菱商事
注:三井物産・業績をそれぞれ

では台湾系生地メーカーなどと協業し、強みになってきた。ベトナム、中国、タイなどで擦り合う。高次加工強化をテーマに投資・出資し、新たな供給網を整備

確立する。

「現場から新しい仕掛けやアイデアがたくさん出ている。進

めるにはマンパワーを高めると同時に効率的な人材活用が必要」と来期、テキスタイルを切

り口に組織を一部変更する。用

途で分けていたテキスタイルの

一部事業を、生地を一体的に

運営して人的効率を高めながら、様々な用途に販売するイメ

ージだ。強みの一つのカーシ

ト資材も運営を効率化する。

「新型コロナウイルスの影響で自動車関連は競争が激化する」

と系、生地の一体化やデジタル技術の活用などで事業の効率化

を進める。

「一時的に拡大する」とみる

のは資材関連事業。「コロナ禍でも伸びているのが衛材、生活

資材関連」と既存部署に加え、

プロジェクトチームをこのほど立ち上げ、部署の壁を越えて総

合意を生かす。マスクやおむつ

向けといった衛材関連、リビング関連やワイヤリングクロスなど

原材料から製品までを手掛ける

生活資材が国内外で好調だ。建

材、土木向けも「ここ数年大き

く伸びている」と拡大する。

ほど資材関連拡大

新中期経営計画をスター

キスタイル、資材など

グローバルメーカー

体運営で独自の商材を

求める。(高田淳史)

米国などを拠点に素材か

までを手掛ける部署が加

え、一強みをより磨

く吉田裕志取締役織維本部

中西栄雄

生産が中

OEM・

による

グローバルメー

カーとの協

業も鍵だ。「グローバルサプラ

イチエーンの拡充」をテーマ

に、海外の有力な合織メー

カーやテキスタイル企業などと戦略

的に連携する。中国を中心に基

てきた供給網をやや弱い東南ア

ジアに広げる考えだ。ベトナム

は外出需

店舗閉鎖に伴う需要

は外需

の急減で生活消費財ビジネスも

出足をぐじかれた。今春夏商戦は

吹き飛び、アパレルのサプライ

系は外出需

店舗閉鎖に伴う需要

は外需

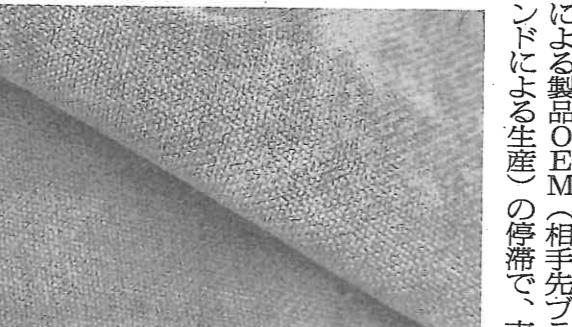
の急減で生活消費財ビジネスも

出足をぐじかれた。今春夏商戦は

吹き飛び、アパレルのサプライ

生地拡販で営業増益

20年3月期 高付加価値品が貢献



綾目のトップ染め調ストレッチコードユロイなどがリードした

織でリサイクルポリエステルや高密度タフタ、強撥水

タイプのポリエステル・ナイロン割織系などが健闘。

天然織維は、綿混で綾目の

トップ染め調ストレッチコードユロイ、春夏向けのド

ライタッヂのウール・リネ

ンなど、複合織物や後加工

素材がリードした。生地輸出ではベトナムが売り上げ

を伸ばし、英・ロンドン事

務所を拠点とする欧州向けが大

手ブランドにも採用されるなど

増益に貢献した。

中国生産を主力とする商社向

けOEMは、ラッシュガードや

パーク類などスポーツティーなカ

ジュアルアイテムを中心に、昨

年12月まで順調だったが、今年

1月以降の現地工場の一時停止

で失速を余儀なくされた。

同社は新型コロナの影響が來

る法人の開設など海外拠点整備

に伴って販売・管理費は膨らん

だが、国産の高付加価値テキス

タイルの拡販効果で、営業

利益が8・2%増となっ

た。

テキスタイル事業は、合

同社の設立当初からの活用して

いない会社が増えていて、

商談に同行させて専門的な

部分を話し込むことで、消化率

の高い企画を生み出す。3月、

9月には東京支店で展示会も行

う。

同社の設立は05年。前期(20

年4月期)は增收で推移してい

たが、新型コロナウイルスの影

響で第4四半期(2~4月)が

落ち込み、売上高は約29億円と

前の期並みとなる見通し。

勤務時の営業対応の強化や世界的信用不安の拡大を背景とす

る取引信用保険の活用に取り組

む。一方で、自社開発と産地開

発のテキスタイルの充実、介護

用品の需要が伸びた。

今期の経営目標を「雇用の維持、社業継続」に設定した。企

業活動の持続性を重視し、在宅

年上半期まで続くとみており、

1月以降の現地工場の一時停止

で失速を余儀なくされた。

同社は新型コロナの影響が來

る法人の開設など海外拠点整備

に伴って販売・管理費は膨らん

だが、国産の高付加価値テキス

タイルの拡販効果で、営業

利益が8・2%増となっ

た。

テキスタイル事業は、合

同社の設立当初からの活用して

いない会社が増えていて、

商談に同行させて専門的な

部分を話し込むことで、消化率

の高い企画を生み出す。3月、

9月には東京支店で展示会も行

う。

同社の設立は05年。前期(20

年4月期)は增收で推移してい

たが、新型コロナウイルスの影

響で第4四半期(2~4月)が

落ち込み、売上高は約29億円と

前の期並みとなる見通し。

勤務時の営業対応の強化や世界的信用不安の拡大を背景とす

る取引信用保険の活用に取り組

む。一方で、自社開発と産地開

発のテキスタイルの充実、介護

用品の需要が伸びた。

今期の経営目標を「雇用の維持、社業継続」に設定した。企

業活動の持続性を重視し、在宅

年上半期まで続くとみおり、

1月以降の現地工場の一時停止

で失速を余儀なくされた。

同社は新型コロナの影響が來

る法人の開設など海外拠点整備

に伴って販売・管理費は膨らん

だが、国産の高付加価値テキス

タイルの拡販効果で、営業

利益が8・2%増となっ

た。

テキスタイル事業は、合

同社の設立当初からの活用して

いない会社が増えていて、

商談に同行させて専門的な

部分を話し込むことで、消化率

の高い企画を生み出す。3月、

9月には東京支店で展示会も行

う。

勤務時の営業対応の強化や世界的信用不安の拡大を背景とす

る取引信用保険の活用に取り組

む。一方で、自社開発と産地開

発のテキスタイルの充実、介護

用品の需要が伸びた。

今期の経営目標を「雇用の維持、社業継続」に設定した。企

業活動の持続性を重視し、在宅

年上半期まで続くとみおり、

1月以降の現地工場の一時停止

で失速を余儀なくされた。

同社は新型コ